










令和7年度地下タンク内油水回収及び処理

件名	令和7年度地下燃料タンク内回収及び処理							
図面名称	表紙							
縮尺	—	図面番号	1 / 2	作成年月日	令和7年 4月 14日			
業務隊長	管理科長	営繕班長	工事企画係長	営繕主任	管財係	施設管理係	ホィール係長	作成者
								
陸上自衛隊 別府駐屯地業務隊 管理科								

仕 様 書

- 1 件 名 : 令和7年度地下タンク内油水回収及び処理
- 2 場 所 : 大分県別府市大字別府3088-24 南別府駐屯地
- 3 適用範囲 : 本仕様書は南別府駐屯地に設置しているボイラー用地下タンク内にある油水等回収及び処理について適用する。
- 4 実施概要 : 水封入済地下タンク(A重油用約60kL)の油水回収及び処理
- 5 一般事項 :
- (1) 本作業は、仕様書の他、消防法その他関係規則により実施するものとする。
 - (2) 写真は、作業前・作業後、主要な作業段階毎及び担当官の指示する箇所を撮影し提出するものとする。尚、写真データについては、消失及び情報流出させないよう厳重に管理を行うこと。
 - (3) 作業中、他の箇所に汚損・破損を及ぼした場合は速やかに担当官に報告をするものとし、請負者の責任において原状に復旧するものとする。
 - (4) 作業の安全管理には十分に留意し、事故等がないよう万全を期すこと。
 - (5) 本仕様書に記載なき事項で当然必要な事項は請負者の責任において実施するものとする。また、作業上、軽微なもので当然必要と思われる事項においても同様とする。
 - (6) 本仕様書及び作業時に疑義を生じた場合並びに不明な点については担当官と協議した後、実施するものとする。
 - (7) 作業現場は電源がないため電気は請負者が準備するものとする。
- 6 特記事項 :
- (1) マンホールを開放し、バキュームローリー等でタンク内の油水を回収する。
 - (2) 本作業に際し、消防等への報告・届出はすでに完了しているため報告等は必要はない。
 - (3) 油水回収後は、マンホールは再度閉鎖すること。
 - (4) 回収した油水等は請負者が適正に処理した後、産業廃棄物管理票(マニフェスト)等必要書類を提出する。

件 名	令和7年度地下タンク内油水回収及び処理				
図面名称	仕様書				
縮 尺	-	図面番号	2 / 2	作成年月日	令和7年 4月14日
陸上自衛隊 別府駐屯地業務隊 管理科					